

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	飯田勤労者福祉センター駐車場整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
	部等名	産業経済部	課等名	産業振興支援課		1	5	1	2	10		1
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり				包含する細々目							
施策	12 人材育成と企業、人材誘導											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～			年度					

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田下伊那の勤労者 飯田・下伊那の住民	飯田下伊那の勤労者総数:人(公表値平成13年度)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			85164	85164	23年度以前に終了は終了年度とする	
		飯田下伊那の人口:人(平成17年国勢調査)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			175533	175533		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
会館を支障なく利用できる	利用者総数:人	18目標	210000	最終目標	220000	
		18実績	200025	19目標	211000	↑
		23目標	220000	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	長野県飯田勤労者福祉センター利用者駐車場を拡張して整備する	駐車場拡張計画立案及び用地交渉	駐車場が満車になった回数	
	18年度の実績			
	19年度計画	駐車場整備 ・対象面積:653㎡ ・駐車台数:40台 ・工事費5,250千円、借地料812千円	駐車場が満車になった回数	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	0	6,062
事業費計(A)	0	6,062	
人件費	正規職員所要時間	18年度 20	19年度 50
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	72	179
	トータルコストA+B	72	6,241

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	勤労者および圏域住民のゆとりある生活の実現	ゆとりある生活ができていると感じる住民の数:人(アンケートが必要)	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
・飯田勤労者福祉センターの利用者から駐車場が狭いとの声が寄せられている。 ・勤労者まつり等のイベントには周辺路上に駐車する車が多く、苦情が寄せられている。 ・平日の昼間を中心にして駐車場が満車になることが多く、駐車場拡張の必要がある。	・候補用地南側の駐車場整備時にも市として対象箇所を含めて整備の希望があったが、地権者の事情によりできなかった。 ・現在は地権者が貸してもよいとの意向を持っている。	飯田市勤労者協議会や市議会から駐車場拡張の要望が提出されている。 平成19年1月に実施した飯田勤労者福祉センター満足度調査で、駐車場の拡張を希望する声がある。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <div style="position: absolute; left: 100px; top: 50px; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 実施年度 具体化 </div>	平成19年度で整備工事は終了する
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	